

みなかみ

議会 だより

第3号 **臨時号**

平成18年6月15日発行
(2006年)

群馬県利根郡みなかみ町

「古馬牧の人形浄瑠璃」記念公演

(みなかみ町カルチャーセンター)



臨時議会 (平成18年5月9日)

◆ 選挙後初の議会 ◆

**新メンバーで
スタートしました**

議長・副議長あいさつ……………	2
委員会の構成……………	3
議員の横顔……………	4

議長・副議長あいさつ



議長
傳田創司

このたびの五月九日臨時議会において、みなかみ町議会議長に就任いたしました傳田創司でございます。

改めてその重責を務めさせていただきますことになりましたが、光栄に存じますとともにその責任の重大さを痛感しているところでございます。

多様化する住民のニーズに応えられるためには、地方議会の役割はますます重要になって参りました。私達議員の創意工夫によって、活力ある議会運営を実現していかねばなりません。

平成の大合併は、国の行財政改革を掲げた方針であります。十年後の

国・県・地方自治体の財政再建が目的であります。まずは地域経済がより向上してこそ過疎化の進行の歯止めとなり、同時に自治能力の向上も図られると考えます。住民が安心して暮らせる町づくりこそ、この間に国や県に頼らず自治能力を身に付け、住民のための向上を図らなければなりません。

急がずなだらかな改革を進めながら、目的の達成に向かって新しい町づくりのために、全町民と一緒に議員二十三名全員が一枚岩となってその力を結果し、合併後の新しい基幹産業、観光と農業をうまく組み合わせ、お客様が来てみて良かった、

行ってみないと感じる観光温泉の町を創らなければなりません。

行ってみないと感じる観光温泉の町を創らなければなりません。

めぐまれた個性ある美しい景観を持った各地域の、自然と温泉プラス人情を生かし、そして住む人々が住み続けたい、住んで良かったと思われ福祉の充実した町づくりに、一生懸命取り組みたいと考えています。

以上、所信と決意の一端を申し上げ、議員各位はもとより町民皆様の一層のご支援とご協力をお願いし、最後に全町民の皆様のご多幸をお祈りし、議長就任のごあいさつといたします。



副議長
本多秀律

五月の臨時議会において、副議長に就任することになりました。もとより浅学非才、その器ではありませんが、誠心誠意努力し、職責を全うする覚悟であります。

みなかみ町では少子高齢化の進行が顕著となり、地方分権の到来とともに行財政運営の充実が急務であります。旧三ヶ町村の議会運営の相違を克服し、遅滞のない円滑な議会運営を図ることが大事であります。

傳田議長は人格は円満、識見は豊富で卓越しております。議長のご指導と助言を頂きながら、名譽ある席を汚さないで職責を全うするよう、最大の

努力をいたします。

今後は住民福祉の維持向上を図るとともに、均衡ある地域の発展が期待できるような新しい町づくりに努力する所存であります。

町民皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。



**議員一同
力を合わせ頑張ります。**

みなかみ町議会 委員会の構成

◆議長 傳田 創司

◆副議長 本多 秀律

●常任委員会

総務文教常任委員会	厚生常任委員会	産業観光常任委員会
◆委員長 根津 公安	◆委員長 中村 正	◆委員長 久保 秀雄
◆副委員長 河合 幸雄	◆副委員長 鈴木 幸久	◆副委員長 小野 章一
◆委員 前田 善成	◆委員 林 喜美雄	◆委員 林 一彦
阿部 賢一	原澤 良輝	河合 生博
山田 庄一	鈴木 勲	島崎 栄一
穂苅 清一	森下 直	倉澤 長男
高橋 市郎	本多 秀律	傳田 創司
速水 一浩	阿部 源三	

●行財政改革特別委員会

◆委員長 速水 一浩	◆委員 河合 生博	林 喜美雄	久保 秀雄
◆副委員長 本多 秀律	小野 章一	中村 正	根津 公安

●議会運営委員会

◆委員長 阿部 源三	◆委員 穂苅 清一	久保 秀雄	中村 正
◆副委員長 高橋 市郎	根津 公安	速水 一浩	本多 秀律

●議会だより編集委員会

◆委員長 河合 幸雄
◆副委員長 森下 直
◆委員 林 一彦
原澤 良輝
島崎 栄一
本多 秀律

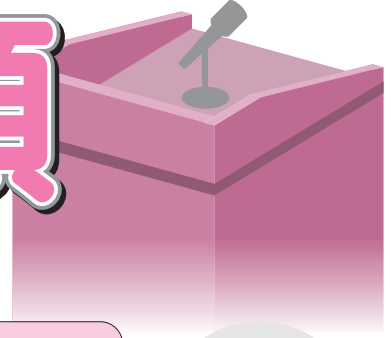
●広域議会議員

◆議長 傳田 創司
◆議員 本多 秀律

●監査委員

◆議会代表 速水 一浩

議員の横顔



※氏名右の丸数字は期数

一緒に素晴らしい町づくりを
しましょう。みなさんの意見を
聞かせて下さい。



林 一彦 ①
S37.11.11 生 産観

新治 猿ヶ京温泉 876

未来に輝くみなかみ町づくり
のために全力を傾注し、万民の
住み良い町にするために邁進し
ます。



阿部 賢一 ①
S38.12.15 生 総文

新治 須川 1655

子育て世代の親としての視点
で、『町政に元氣な風を吹かせ
る』ように努力し、真剣に取り
組みます。



前田 善成 ①
S42.08.21 生 総文

月夜野 上牧 2066 - 3

「住民の知恵を生かす町づく
り」をモットーに、対話をと
おして、夢もてる地域づくりに
努力いたします。



林 喜美雄 ①
S23.07.07 生 厚生

新治 羽場 1440

「みなかみ町」で生まれて良
かった、育って良かった、住ん
でいて良かったと思えるよう
な「町づくり」を目指します。



河合 生博 ①
S23.11.03 生 産観

新治 東峰 20

「初めの一步」を大切に
して、初心を忘れずに、しつかりと活
動していきたいと思えます。



山田 庄一 ①
S29.04.02 生 総文

新治 新巻 2892

公平公正な町をつくり、町民
が住んで楽しいと思えるよう
にしていきたい。一生懸命張
ります。



島崎 栄一 ②
S42.01.28 生 産観

新治 布施 362 - 4

憲法をくらしに生かし、福
祉・子育て支援など、町民が主
人公の町づくりを。議会へ
町民の声を届けます。



穂 苺 清一 ①
S12.11.20 生 総文

水上 大穴 277

不要・不急の大型公共事業を
止め、住民の暮らしや福祉・教
育を守ります。



原澤 良輝 ①
S20.04.24 生 厚生

月夜野 下津 1272

町の将来に向け、財政基盤の
確立と地域間の特性を活かした
調和のとれた夢のある町づく
りに努力いたします。



小野 章一 ②
S26.06.29 生 産観

月夜野 石倉 1284

信頼関係のないところには、
進歩も発展もないと思います。
町民同志の信頼を大切に、夢
のあるまちづくりに努力します。



久保 秀雄 ②
S28.08.16 生 産観

水上 阿能川 148

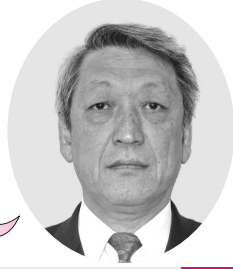
民意主導の透明な町政を基
準理念とし、みなかみ町のまちづ
くりの方向を定める大切な四年
間。真剣に働きます。



高橋 市郎 ②
S31.09.25 生 総文

月夜野 上津 1795

合併し、三ヶ町村の地域を勉強させていただき、より良い新しいみなかみ町政を、町長を始め、議会全体で行いたい。



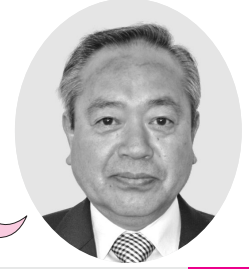
河合 幸雄 ②
S21.08.23 生 総文
[水上] 湯原 670

削減・切り捨ての苦しいスタートです。自助・互助の精神で長い階段を一步步上つていきましよう。



鈴木 幸久 ②
S24.08.12 生 厚生
[水上] 湯原 795 - 1

議員定数半減・行動範囲拡大。行財政改革実行の中、住民皆様と痛みを共にし、その期間を短縮するよう鋭意努力いたします。



中村 正 ②
S25.11.18 生 厚生
[月夜野] 上牧 2113

幸福の原点は「安心・安全」。大計・大局を視野に入れ、創造力豊かにみなかみ町発展に寄与していきたい。



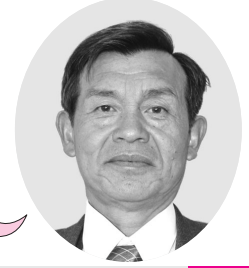
根津 公安 ③
S35.02.05 生 総文
[月夜野] 月夜野 262

皆様とともに心の通う地域性豊かな明るい町づくりをめざして、情熱と行動力をもって、努力いたします。



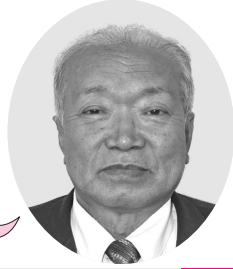
森下 直 ②
S14.08.03 生 厚生
[月夜野] 後閑 1165 - 2

農産物に付加価値を付けた観光農業への取り組み、地域の特性を活かした「活力あるまちづくり」に努力します。



鈴木 勲 ②
S18.03.15 生 厚生
[月夜野] 小川 473 - 2

みなかみ町元年に当たり、観光農業と人口活性化に新たな模索を提案したい。水資源の再発見と有効活用について。



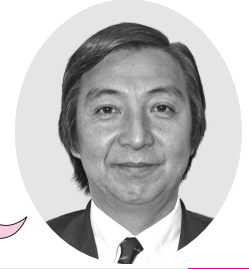
倉澤 長男 ⑤
S10.10.18 生 産観
[月夜野] 月夜野 2273

住民福祉の向上を図り、みなかみ町の均衡ある発展ができるような「元気のなる新しい町づくり」をめざします。



本多 秀律 ③
S15.04.10 生 厚生
[新治] 東峰 100

「みなかみ町」の可能性は、無限大です。夢のある「みなかみ町」を目指し、行動力で尽くします。



速水 一浩 ③
S30.07.10 生 総文
[水上] 湯原 9 - 1

議 会 事 務 局

新体制になりました。よろしくお願ひします。



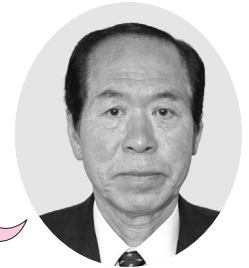
(係 長) 林 和也 (局 長) 矢野 義夫 深代 和恵

みなかみ丸の水先案内の一人として、前途多難の荒海を乗り越えるべく、残身に答打ち、渾身の力を尽くして、その責務を果たす。



阿部 源三 ⑦
S10.04.15 生 厚生
[月夜野] 真庭 199

合併の目的である健全財政の確立を目指し、町民の声を当局へ、住む人々が良かったと思われる町づくりに努めます。



傳田 創司 ③
S12.05.30 生 産観
[水上] 小仁田 524 - 1



郷土を担う子どもたちへ

新治観光協会 青年部長 林

いずみ 泉 (相俣)

いつもは静かな相俣・日枝神社の境内に多くの子どもたちの歓声が響き渡った。にぎやかな様子に集まった地元の人たちも温かなまなざしを向け、楽しそうに微笑む。

かりそめ、かつての緑日の光景が呼び覚まされたようだ。

先生に引率され歩いてやってきた猿ヶ京小学校の児童七十七名は、日枝神社で上演された「猿ヶ京太々神楽保存会」によ

る神楽を見物しながら、福餅投げや観光協会青年部の協力による露店を楽しんだ。

そもそもこの企画は、猿ヶ京小学校学校支援委員会において、子どもたちに地域の文化や伝統芸能を知ってもらおうとの意図から、小学校の総合的な学習の一環として猿ヶ京太々神楽保存会が協力して行ってきた。

さらに実際の神社での緑日の雰囲気味わってもらおうということ、一昨年の猿ヶ京の神明神社、そして昨年・今年と相俣の日枝神社で春祭りに合わせて実施された。

併せて新治観光協会青年部にも協力の要請があり、青年部では緑日の露店の楽しみを知ってもらおうと、子どもたちにお

菓子や飲み物などを配布したり、さらにくじ引きなどを行ったりして協力した。

お神楽では「鯛釣り」の演目に合わせ、釣り糸の先に餌ならぬお菓子を付け、それを子どもたちが争って取り合うなどの演出もあり、また福餅もお菓子と一緒にたくさん用意され、わずかな時間ではあったものの子どもたちは充分楽しんだ様子であった。

子どもの数も減り、高齢化の進んだこの地域にあって、かつてのような賑わいは望めないが、この子どもたちの中からきっと神楽を受け継ぐ人材が出てこよう。またそうでなくても、こうした楽しい体験はしっかり心の中に刻み込まれるもの

と思わずにはられない。かつての自分自身がそうだったように。



日枝神社・相俣春まつり
(上)太々神楽の「鯛釣り」 (下)賑わう露店

平成十八年度の予算編成がまとまりました。四月には議員選挙があり、選出された議員により正副議長や常任委員会の構成などが決まりましたので、今号では、それらについてご報告する内容となっております。

町は行財政改革に取り組む姿勢を示しています。加えて、観光及び農業を基幹産業と位置づけています。それらについての議論や決定をお知らせすることもあると考えております。

町村合併したからには夢のある「みなかみ町」にしたいというのが私たちの願いです。

議会だよりは、「見やすく、わかりやすく」を目標として編集してまいります。町民皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

河合 幸雄

